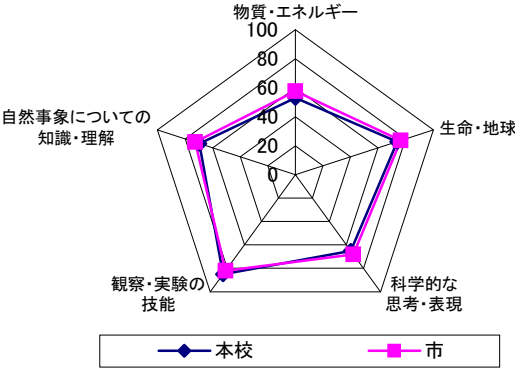


宇都宮市立西原小学校 第5学年【理科】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
領域別	物質・エネルギー	52.9	57.6
	生命・地球	73.7	76.3
観点別	科学的な思考・表現	64.9	68.1
	観察・実験の技能	84.8	82.0
	自然事象についての知識・理解	69.6	72.7



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
物質・エネルギー	・市の平均正解率を下回った。 ・水のすがたの問題では、熱い湯が吹き出すのを防ぐために入れるものが、「ふっとう石」であるということをあまり理解していない。また、水が沸騰するときの温度についての誤答も目立っている。	・結果から考察を考える時間を十分に確保し、思考が深められるように指導していく。 ・実験の条件や操作の意図を考える時間を意図的に設定し、習熟が図れるようにする。 ・日常生活の中で、水の変化に興味を持たせ、生活に結び付けて理解を図るよう指導していく。
生命・地球	・市の平均正解率を下回った。 ・顕微鏡の正しい操作方法については、よく理解しており、市を上回っている。 ・雲と天気の変化については、天気の予想から、その日の雲画像を推測できてはいるが、台風が発生する場所を指摘する問題に関しては、理解不十分であった。 ・植物の作りについての問題は、誤答が目立った。	・日常生活の中で、植物の作りを意識させるとともに、練習問題に多く取り組むようにし、習熟が図れるようにする。 ・TVのニュースで取り上げられた台風の天気の雲画像などをもとに、子どもたちに台風の動きや発生場所の推測をいくつかの事例を用いて指導していく。